

# V.G 概論だより

会報 第116号  
発行日 平成26年6月1日  
発行・編集 V・G 概論  
代表者 大岡成一  
http://web1.ibj.co.jp/~kirin

## 事始め(衣・食・住の発祥の地) 文化の町、池田市

平成26年5月22日(木)  
散策に最適な日和

### 集合…阪急池田駅改札

順路…池田駅→呉服神社・室町住宅地→歴史的建造物集積地区→伊居太神社→五月山公園→池田城跡公園→逸翁美術館→池田文庫→池田駅

今回の池田市の散策に当たり、いけだ観光ボランティアガイドの村田氏の全面的な協力を得て計画しました。

当日のガイドは、豊岡さんに本当に丁寧な長時間にわたり説明をして頂きました。

池田は応神天皇の頃、呉服姫(くれはとり)、穴織姫(あやはとり)の伝説に始まり、江戸時代には、池田の銘酒、池田炭で全国的に知られました。明治には、室町に日本初の分譲住宅が建設され、日本四大植木の町の名声は今も健在です。安藤百福氏の開発による即席めんは、昭和33年池田市に発祥し、全世界に伝播し、

「食文化」を愛顧しました。池田市は、中世この地に城を築城した池田氏が地名の由来とされています。京から九州に通じる西国街道や大阪と妙見山を結ぶ能勢街道、妙見道、巡礼道などが交錯し、能勢方面の米、薪炭、青果物が大阪へ、また大阪から地方へは魚介類、衣類、日用品などが運ばれました。その物資の集散地であったことが、生活文化を育む土壌となりました。

池田の町人文化を担ったのは、この地の商業発展で、経済力をつけた造り酒屋や大問屋でした。室町時代には連歌師の牡丹歌肖相を中心に和歌が盛んになり、江戸時代には与謝野無村、松村月溪が逗留して絶頂期を迎えました。



明治初期には、地方では珍しい本格的芝居小屋が設けられ、歌舞伎興行もあつて大変な賑わいを見せていた。史的な町並みが比較的よく保存されているが、近年は中高層マンションの立地が進んできています。

室町時代、機織・縫製技術を得るために呉の国に派遣された猪名津彦命が、呉王に乞ひ連れ帰った呉服媛(くれはとり)のひめ・穴織媛(あやはとりのひめ)・兄媛(えひめ)・弟媛(おとひめ)の4姉妹のうち、池田の地に迎えられた呉服・穴織姉妹の姉、呉服媛が祀られている。

「旧宝塚ファミリアランド」歴史石燈籠天平時代からの著名な石燈籠を選んで、その実物(本歌)を精密に模写した二十三基を、旧宝塚ファミリアランドから移設しました。

室町時代から戦国時代にかけて、池田市域一帯などを支配していた地方豪族池田氏の居城跡地を公園として整備を進め、平成12年(2000年)4月にオープンしました。園内には白い城壁で囲まれた日本庭園が広がり、

「池田城跡公園」



展望舎、茶室、管理棟がある。やぐら風展望休憩舎からの眺めは、池田市街地はもちろんのこと、阪神高速道路の新猪名川大橋(通称ビッグハープ)や園内、五月山が一望できます。兵庫県川西市、宝塚市、さらには大阪市や神戸市方面の風景を楽しむ事ができる。南門を降りた所に

池田文庫は、阪急・東宝グループの創業者小林一三が昭和24年(1949)に開館しました。そもそも文庫の歴史は、宝塚新温泉の余興として、大正3年(1914)に宝塚少女歌劇(今の宝塚歌劇)の公演を開始し、図書室はその翌年に新設されました。読書が楽し

め、読書に厭きれば歌劇を見、一日を過ごせる工夫をしました。

「旧宝塚ファミリアランド」歴史石燈籠天平時代からの著名な石燈籠を選んで、その実物(本歌)を精密に模写した二十三基を、旧宝塚ファミリアランドから移設しました。

### ふるさと農園

5月の農園は、春野菜の収穫の時期でもあります。更に、花の季節でもあるのです。

5月ともなれば、そらまめの花はありませんが、白や紫のエンドウの花が咲き乱れていると言っていいでしょう。ジャガイモの花は大空に向かって、ここにジャガイモが居るよと呼んでいるようです。大きな綿のボールはなんだろう、ネギの花かもしれない。チョット触ってみたいくなります。 S・O



### 2014年6月度行事予定

“竹林・田畑・水の音・変わりゆくまちで、旧き面影を辿るまち”  
旧春日村・服部緑地公園

月 日: 2014年6月19日(木曜日)  
集合場所: 北大阪急行 桃山台駅 南出口 10:00 集合  
順 路: 桃山台駅→桃山公園(春日大池)→春日神社→旧春日村→服部緑地(緑地公園)

その他: 1)「吹田まち案内人」の方のガイドをお願いしています。  
2)服部緑地公園もガイドを予定しています。  
3)前日夕方6時NHKで当日午前の降水確率60%以上の場合は中止

### 2014年7月度行事予定

“七夕月は星空の下であいましょう!”  
茨木市立天文観望室(プラネタリウム)

月 日: 2014年7月17日(木曜日)  
集合場所: 茨木市役所合同庁舎 1階 ロビー 10:15 集合  
JR京都線 茨木駅より東へ徒歩約9分  
阪急京都線 茨木市駅より西へ徒歩約10分

その他: 1) VG概論は、プラネタリウム撮影開始10:30を予約しています。10分前には入館します。入館料: 100円/人です。  
2) 一般参加者歓迎です。会員を通じて事前に申し込み下さい